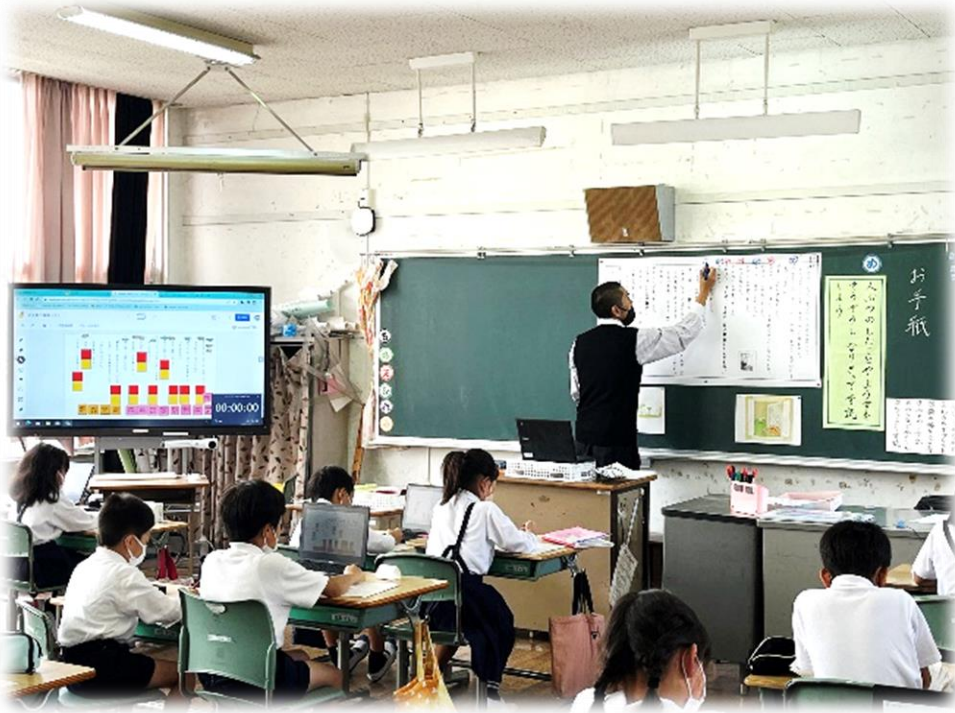


10/7 エリアリーダーモデル授業公開 in 福富小学校

小学校第2学年 国語科 中尾 大樹 先生
単元名 「お手紙」 (光村図書)



ICT活用のポイント

- ・ Jamboardのホワイトボード機能を活用し、会話文における音読の工夫を選ばせることで、他の児童の考えを共有するとともに、多様な考えに触れさせ、理解を深める。

学習の流れ 12時間 (本時7 / 12)

導入

①本時のめあてを確認する。

<めあて>

人ぶつをしたことや
ようすをそうぞうし、
なりきって音読しよう。

・ 前時の学習を振り返らせ、3場面の後半の音読をすることを伝える。

展開

②役割音読をする。

・ かえるくんとがまくんのイラストを動かす。

活用ポイント

【Jamboard】

③物語文の読み取りを行う。

・ 叙述を基に、読み取りを行い、人物の心情の変化を考えさせる。

④会話文の読み方を考え、二人の様子を想像する。

・ 会話文の読み方の付せんを選ぶ。

活用ポイント

【Jamboard】

まとめ

⑤学習を振り返り、次時の見通しをもつ。

・ 音読後、ペアの友達の読み方で良かったところを伝え合うことで、自信へとつなげる。

小学校第2学年 国語科 単元名「お手紙」 (光村図書)

会話文の読み方を考え、二人の様子を想像する【Jamboard】



誰の会話なのかを押さえながら、かえるくんとがまくんのイラストを動かします。

役割音読をする【Jamboard】

会話文における読み方の工夫を付箋で選ばせたものを学級で共有し、役割音読を行います。



多様な考えに触れさせ、理解を深めていきます。

会話文における音読の工夫を選ばせることで、他の児童と考えを共有します。

<授業を参観された先生方の声>

- ・ すばらしい授業でした！ジャムボードを使用したことで対話的な活動が生まれ、たくさんの子が主体的に活動できていたと思います。
- ・ 「2年生だからICT活用は無理だ」ではなく、積み重ねが大事だと改めて思いました。
- ・ 自分の音読に自信をもっている姿がすてきでした。
- ・ 物語文で、タブレットをあのよう活用出来ることを知り、目からウロコでした。また、他の学校の先生方の様々な実践を聞いて、とても参考になり、すぐに追試したいと思いました。



※「SAGA Eコネクト」サイトでもたくさんの事例をのせています→

